

授業科目名： 教育の方法と技術	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 谷口 和也 担当形態： 単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ <p>学習者は、本授業を通じて、近年の教育政策のもと多用されるようになった参加型学習について理解するとともに、その必要性及び具体的な課題とその対応策について、また、近年の新しい教育内容に対応する教育方法の具体的な指導法について身に付けることができる。</p>			
授業の概要 <p>本授業は大きく四つのパートから成り立っている。</p> <p>第一パート（第1～4回）は、教育方法を成立させる基盤について。第二パート（第5～8回）は、シミュレーション・ゲーム、映像メディア、ICT教材を利用した教育方法とその問題点について。第3パート（第9～12回）は、参加型学習を取り入れた場合に直面する課題とその対応策について。第四パート（第13～15回）は、近年の新しい教育方法について論じる。</p>			
授業計画 第1回：教育方法・技術に関わる基本的な課題 第2回：教育目標・カリキュラム・教育の方法と技術 第3回：なぜ参加型学習が必要とされるのか？ 第4回：21世紀型学力と変わる教師の役割 第5回：シミュレーション・ゲームでわからなくなるもの 第6回：21世紀のシミュレーション・ゲーム教材とは？ 第7回：映像メディアの三機能 第8回：ウェブを使った「調べ学習」の問題点 第9回：教科書に掲載された新しい教育方法 第10回：「正解のない問題」にどう取り組ませていくのか？ 第11回：議論を引き出す基礎・基本とは？ 第12回：アクティブ・ラーニングをどう評価するか？ 第13回：道徳教育において「対話的・主体的な深い学び」をどう成立させるか？ 第14回：防災教育を通じた地域連携と社会参画 第15回：持続可能な発展のための教育			

テキスト

- ・記入用のポートフォリオ（80頁ほど）を使用し、テキストは使用しない。
- ・中央教育審議会（2016）『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』や、公開されている「対話的・主体的で深い学びの実現」に関わるパワーポイント資料、21世紀型学力に関する議論の該当箇所はすべて、このポートフォリオに記載されており、Webを参照しながら予復習に充てる。

参考書・参考資料等

- ・教育の情報化に関する手引作成検討会（2010）「教育の情報化に関する手引」文部科学省。
- ・文部科学省（2013）「学校防災のための参考資料 『生きる力』を育む防災教育の展開」

学生に対する評価

- ・予復習欄、授業中に学んだことやディスカッションの内容、パートごとのふり返りを含んだ80頁程度のポートフォリオを配布する。
- ・学生はその学びの過程を記録して行き、各記入欄に書いていく。この記入欄に1～3点が配されており、予復習の成果やディスカッション、受講の成果が蓄積されていく。
- ・その記入欄の配点を合計すると100点になるが、評価は獲得したその合計点で行う。